

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870103466
法人名	(有)ケイ・エム・エス
事業所名	グループホームさしも
所在地	松山市高岡町617番地
自己評価作成日	平成24年1月19日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成24年2月9日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

職員は、毎朝のミーティング時に「介護のコツ10カ条」「1日の五心」を唱和し、日々のケアの向上につなげている。午前中は、近隣の安全な道路を散歩、午後より、レクリエーションの一環として、健康体操を実施している。身体の体操から、声を大きく出して、発声して頂き、その後は、職員が各々考えた塗れ絵、歌すごろく、工作など利用者とともに楽しく行っています。個性溢れる職員のもと、利用者も楽しく笑い声の絶えない楽しいホームです。ホーム近くの協力医療機関とは24時間体制での連携をとり、緊急時にも対応でき、往診もある。また、歯科医とも協力関係を築いている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

事業所は自治会に加入されている。散歩により季節には、よく散歩に出かけておられ、近所の方達とあいさつされたり、時にはお花や野菜をいただくこともある。
 利用者のお誕生日には、ご家族も一緒にお祝いできるようにお誘いしたり、ご家族の来訪時には、利用者と一緒に過ごせるように、建物2階の談話室も使用できることを伝えておられる。
 調査訪問日には、お誕生日の利用者がおられ、彩りよく盛り付けられた食事で、利用者同士で「おいしかったね」と話しておられた。ミキサー食の利用者には、職員が「ほうれん草のおひたしです」等、メニューを伝えながら介助されていた。食材は、全体的に小さめに切るようにされている。食後、ご自分の食器を下げ、又、他の方のお膳も下げてくださいる利用者もおられ、職員は台所でその都度「ありがとうございます」とお礼を言っておられた。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目：28)		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホームさしもも

(ユニット名) ユニット(2)

記入者(管理者)

氏名 矢野 澄美子

評価完了日

平成 24 年 1 月 19 日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所 理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有 して実践につなげている	(自己評価)	
			理念に基づいて地域へのサービスを展開する	
			(外部評価)	
			事業所開設時から「理解・信頼・自由」と、事業所理念を掲げ ておられる。又、「やさしい笑顔で楽しくともに生活いたしま しょう」等、ユニットごとに「目指すこと」が作られてある。管理 者は、「誰でも気軽に来てもらえるような事業所」作りに取り組 みたいと考えておられる。	理念は、事業所が取り組みをすすめていく上で拠り所となる ものでもあり、日々の中で管理者は、理念について職員に語 り、牽引していかれることが期待される。さらに、今後、職員 が一丸となってケアに取り組めるよう、この機会を活かして理 念について話し合ってみてはどうだろうか。
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられる よう、事業所自体が地域の一員として日常的に 交流している	(自己評価)	
			回覧板などのつながり、また散歩時挨拶を交わし立ち話をし たり季節の作物を頂くこともある	
			(外部評価)	
			事業所は自治会に加入されている。散歩によい季節には、 よく散歩に出かけておられ、近所の方達とあいさつされたり、 時にはお花や野菜をいただくこともある。事業所では今後、 「利用者が子ども達とふれ合うような機会を作り、利用者の笑 顔を引き出したい」と考えておられる。さらに、事業所と地域 との間でお互いに知り合うような取り組みをすすめ、地域との 関係を深めていかれてほしい。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症 の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向 けて活かしている	(自己評価)	
			ボランティアなどの受け入れを行っている	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	(自己評価)	
			<p>ホームの生活の様子や現状報告等を行い、意見や情報等を得るようにしているが、参加者(家族様)からの意見が多いとは言えない。今後も、質問・意見・要望を受け双方向的な会議となる様にする。</p>	
			(外部評価)	
			<p>2ヶ月毎に会議を開催されており、消防署の協力を得て心肺蘇生術の講習やピアノ等の演奏会、七夕祭り等と合わせて会議を行い、「参加のしやすさ」等にも配慮して会議をすすめておられる。民生委員の方からは、地域の一人暮らしの高齢者数を教えてもらっている。3月の会議時には、地域包括支援センターの協力を得て、参加者と一緒に「筋力アップ運動」を行うことを企画されていた。今後、地域からのメンバーを増やす等、会議を活用して地域のネットワーク作りをすすめていかれてほしい。又、会議を通じて他事業所との交流等もすすめていかれてはどうだろうか。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	(自己評価)	
			<p>今後も質問や意見、要望を受け双方向的な会議となるようにし、サービス向上に活かす</p>	
			(外部評価)	
			<p>地域包括支援センターの担当者が、運営推進会議に参加してくださっており、嚙下体操のDVDをくださり、午後3時ころから行うようにされている。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	(自己評価)	
			<p>日中はなるべく玄関の施錠をしないように配慮しているが、やむをえない場合は家族に説明している。転倒防止の場合、家族合意の元に実行しているが自立支援を目指している。</p>	
			(外部評価)	
			<p>職員が外部研修で身体拘束等について勉強した際には、他の職員も資料を見られるように申し送り等で知らせておられる。現在、ベッドからの転落の心配がある利用者の方もおり、ご家族と相談してベッド柵を使用されている。職員の人手の都合によっては、玄関を施錠することもある。身体拘束や玄関の施錠については、事業所の対処について、利用者の行動意欲を抑制することにつながっていないか、又、利用者が閉そく感を感じていないか等を点検されてみてはどうだろうか。事業所は、理念に「自由」を掲げておられ、又、グループホームは、利用者の自由な暮らしを支援することが特徴でもあり、今後さらに、職員のケアの工夫でカバーできることはないかということを考え続けていかれてほしい。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)	
			朝夕のミーティングやカンファレンス等で一人ひとりの利用者の事を理解し、防止の徹底に努めている	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価)	
			今のところ、対応が必要と思われる利用者はいない。 今後必要に応じて対応を検討する	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価)	
			契約時には事業所のケアに関する考え方や取り組み対応可能な範囲について説明を行っている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価)	
			家族には来訪時なんでも話してもらえるよう留意している	
			(外部評価)	ご家族の来訪時には、細やかに利用者の日頃の様子を報告することに努めておられる。運営推進会議には、協力いただけそうなご家族を事業所でピックアップして参加いただいている。利用者のお誕生日には、ご家族も一緒にお祝いできるようにお誘いしたり、ご家族の来訪時には、利用者と一緒に過ごすように、建物2階の談話室も使用できることを伝えておられる。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			日々意見を聞きコミュニケーションを図るよう心がけている	
			(外部評価)	
			利用者個々に担当の職員を配置して、介護計画の作成等にもかかわるようにされている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			出来る限り利用者の状態やペースに合わせたローテーションを組んでいる	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			研修などの参加を心掛けている	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			研修などの参加を心掛けている	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			本人や家族が事業所を見学時は、利用者の意見を尊重し、不安なことや求めている事をよく聴くように努力している	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価)	家族などの声をよく聴き関係作りに努めている
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時、まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価)	福祉用具以外今のところ他のサービス利用はない
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価)	常に家族であるとの意識を持ち、自分もいずれは行く道であるので、人生の大先輩として尊重していい関係を築くよう心掛けている
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価)	家族と同じ思いで双方の関係を良好に持ち、共に支援している
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価)	居室や談話室などでゆっくり過ごしていただく。 写真を見せていただき傾聴している
			(外部評価)	
			利用者が、ご家族宛てに年賀状を出せるよう支援されており、字を書くことが難しい利用者には、職員が手を添えてサポートされた。ご家族からは、「こんなに書けるのですね」と喜びの声も聞かれたようだ。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 一人ひとりの事を職員が把握しレクリエーションなど皆で楽しく過ごせる場面作りをしている。 食器配膳、下膳など歩行可能な方に他の利用者の分も手伝いしていただいている	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 必要に応じて相談できる体制である	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日常生活の中で一人ひとりの暮らし方を把握し、連絡ノートを活用して、その人らしい生活を検討している (外部評価) 職員は、日々の利用者との会話をメモして、申し送り等で伝えるようにされており、利用者の気持ちを大切にしようと努力されている。	今後さらに、利用者主体のケアに取り組んでいくためにも、利用者のこれまでのことを知ったり、現在のこと、これからの暮らしの希望等を知ることができるような取り組みをすすめていかれてほしい。さらに、終末期のあり方についても、個々の希望を探ってみてほしい。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) アセスメントシートや日々の生活や会話で把握することに努めている	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 利用者一人ひとりの生活のリズムや毎日のバイタルチェック、排泄状態など本人の全体像の把握に努めている	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価) 毎月カンファレンスを行い朝夕のミーティングや連絡ノートの活用など現状に即した介護計画を作成している (外部評価) 介護計画は、3ヶ月ごとに見直しておられ、毎月行うユニットごとのカンファレンス時に、気になる利用者のモニタリングを行っておられる。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 利用者一人ひとり、日勤夜勤経過記録、業務日誌に記入して職員全員で情報の共有、実践、介護計画の見直しに活かしている	
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価) グループ内の他事業所を利用することは可能である	
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価) 現実にあまり出来ていない	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	(自己評価)	<p>事業所の協力医の他受診の通院は本人や家族の希望に応じて対応し、受診結果は連絡ノートにて職員間で情報を共有している</p>
			(外部評価)	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	(自己評価)	<p>協力医院との看護師に日頃の健康管理や医療面での相談・助言・対応を行ってもらい支援している</p>
			(外部評価)	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	(自己評価)	<p>入院時には職員が頻繁に見舞い、病院関係者との連絡を密にしている</p>
			(外部評価)	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	(自己評価)	<p>本人、家族などの意向を踏まえて重度化や急変時に主治医と最善の方法を話し合う。 地域関係者とのチーム支援は出来ていない</p>
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 近隣の主治医と24時間体制をとっている	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 地域との協力体制は得られていないが、西消防署による避難訓練、救命措置を行っている。また水やカンパンを備蓄している	
			(外部評価) 東日本大震災後、職員で話し合い「津波発生時には、隣接するマンションの最上階に避難する」ことを決められた。運営推進会議時には消防署の協力を得て心肺蘇生術の講習を受けられた。さらに、今後いざという時、職員は慌てず対応できるよう、いろいろな災害の場面を想定して避難訓練を重ねていかれることが期待される。利用者、職員の安全安心のための取り組みを計画的にすすめていかれてほしい。	
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) カンファレンスなどで話し合い、言葉かけ対応に気配りしている	
			(外部評価) 職員の名前を利用者に知ってもらえるよう、職員は名札を付けておられる。利用者同士の関係等を踏まえ、席順等を検討されている。事業所では、時に職員の利用者への言葉かけや対応については、気になるような場面もみられるようだ。時々、自分たちのケアを振り返ったり、点検するような機会やご家族等にもうかがってみよう機会も作ってはどうか。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 毎回ではないが入浴や食事、おやつ、レクリエーションに参加するよう働きかけている	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、 一人ひとりのペースを大切に、その日をどのよ うに過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 一日の基本の流れの中で、その人らしい時間の過ごし方を 大切にしている	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう に支援している	(自己評価) 自己決定による更衣、顔のお手入れなどを支援している	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好 みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に 準備や食事、片付けをしている	(自己評価) もやしの根取り、エノキ裂きなどして頂いたり、歩行可能な方 に配膳、下膳をして頂いている (外部評価) 調理専門の職員を配置し、法人の栄養士が立てた献立を参 考に事業所で食事作りをされている。食材は、事業所で注 文して配達してもらうようになっている。食事中、職員は利用 者の介助に徹しておられ、後に、別部屋で食事をされてい る。調査訪問日には、お誕生日の利用者がおられ、彩りよく 盛り付けられた食事で、利用者同士で「おいしかったね」と話 しておられた。ミキサー食の利用者には、職員が「ほうれん草 のおひたしです」等、メニューを伝えながら介助されていた。 食材は、全体的に小さめに切るようにされている。食後、ご 自分の食器を下げ、又、他の方のお膳も下げてくださる利用 者もおられ、職員は台所でその都度「ありがとうございます」 とお礼を言っておられた。	朝食は、利用者が起きて来られた時間に合わせて支援され ているが、夕食の時間は、現在、16時半からとなっている。 利用者のこれまでの生活習慣等も踏まえて、食事時間を検 討されることが望まれる。又、おいしい食事を楽しむという観 点から、職員のかかわり方についても工夫できることはない か話し合わせ、利用者個々がおいしい食事をより楽しむこと ができるよう、支援に工夫されてほしい。
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じ て確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣 に応じた支援をしている	(自己評価) 一人ひとりに対応した食事の提供や水分摂取。 少ない方には声掛けして飲用して頂いている	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、 一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔 ケアをしている	(自己評価) 毎食後一人ひとりに応じた口腔ケアの実施を行っている	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) サインをキャッチし見逃すことなく決まった時間に習慣化されている排泄パターンを誘導支援している	
			(外部評価) 職員が誘導する等して、トイレで排泄できるよう支援されている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 水分、排便、排尿チェックを使用して支援している。水分補給や繊維質の多い食物の取り入れ、体操や散歩などに取り組んでいる	
			(外部評価)	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 入浴前バイタルチェックなどで体調希望を確認し、入浴剤を使用して楽しんでいただいている。体調不良で入浴拒否の方は曜日変更などで支援している	さらに、利用者主体の支援を目指して、利用者一人ひとりの習慣や好み、状態等を踏まえた入浴支援に工夫され、個々がより気持ちの良い入浴ができるよう取り組まれてほしい。
			(外部評価) 月～土曜日、一日3名ずつ入浴できるよう入浴表を作っておられ、年間を通して、利用者一人が週2回入浴できるよう計画されている。入浴日に、入浴を嫌がる利用者がある場合には、他の利用者と変わってもらうようにされている。民家改修型のユニットには、一般家庭のような浴槽、もうひとつのユニットには、いすに座ったまま浴槽で温まれる機械浴が設置され使用されている。湯温や温まる時間等は、利用者の健康状態にも配慮して希望に沿うよう努めておられる。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 日常生活を増やし生活リズムを整え、良眠出来るよう支援している	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 一人ひとり一覧表に記入。また薬変更時は連絡ノートに記入。薬手渡しと最後まで服薬を確認している	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 季節ごとの介護や塗り絵など入居膳スタイルを考慮、活かした支援をしている	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 近隣の散歩に車椅子での外出支援をしている (外部評価) 利用者からは外出を望まれる声は多いようであるが、職員の手や車の事情、冬の寒さや夏の暑さ等のこともあり、外出する機会は少なくなっている。居間からテラスに出られるようになっていて、ベンチもあり、日向ぼっこできるようになっている。	事業所では、利用者と出かけて楽しむ機会を増やしたいと考えておられる。今春から散歩の機会も増やしたいと話しておられた。今後さらに、利用者が地域の中に出かけ生活できるような取り組みを積極的にすすめられるよう、評価の機会や運営推進会議等を機に、ご家族、地域の方、法人も交えて話し合われてはどうだろうか。
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 本人の希望で買い物の支援をしている	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 本人の希望に応じて、日常的に電話や手紙のやり取りの支援をしている	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>季節感、生活感を取り入れ、居心地よく過ごせるよう工夫している</p> <p>(外部評価)</p> <p>民家改修型のユニットと2階建のユニットは廊下でつながっている。調査訪問時には、食事ができるにいが事業所全体に広がっていた。玄関を入ったところに畳の間があり、利用者が洗濯物をたたむ際等にも使用されている。利用者は、居間のテーブル席に座ってテレビを見たり、おしゃべりしたり、食事ができる様子等を見たりして過ごされていた。大きく作った日めくりカレンダーをかけておられ、雑誌や音楽のカセットテープ、ビデオ等もあり、又、ゲーム等も準備されている。クリスマスパーティーの飾りをそのまま飾っておられるユニットもみられ、又、廊下の壁画は、色紙等で色鮮やかに飾られていた。さらに、利用者が季節を感じられるような工夫や、又、利用者一人ひとりの居心地の良さについて等、共用空間の環境を点検する機会にされてはどうか。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>談話室やベランダなど利用していただけるよう工夫している</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>入居時使い慣れた馴染みの家具や好みの物を持ち込まれ、写真などを飾り安心して過ごされている</p> <p>(外部評価)</p> <p>ご自分でひもを引っ張って電気を点けたり消したりできるようにされている方がみられた。ダンス等は懐かしい雰囲気のものも備え付けられていた。映画がお好きな男性利用者は、ビデオテープを持ち込まれて自室で観賞されている。ダンスの上には、ご両親の写真を額に入れ置いている方も見られた。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>エレベーターやトイレに目印案内を付けている。手すりバリアフリーにて安全、自立した生活を支援している</p>	